

たいじょうほうしん 带状疱疹ワクチン

令和7年度 定期接種について

带状疱疹（たいじょうほうしん）とは

带状疱疹は、過去に水痘（みずぼうそう）にかかった時、体の中に潜んでいた水痘・带状疱疹ウイルスが、加齢やストレスなどの免疫力が低下したときに再活性化して発症する病気です。典型的な症状として水疱（水ぶくれ）を伴う赤い発疹が体の左右どちらかに帯状に出現し、強い痛みを認めます。合併症の一つに皮膚の症状が治ったあとにも長期間痛みが残る「带状疱疹後神経痛（PHN）」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。

带状疱疹の発症率は、50歳代から上昇し70歳代でピークをむかえますが、**80歳までに3人に1人が発症する**とも報告されています。



带状疱疹ワクチンとは

带状疱疹の発症を予防するワクチンには**生ワクチン（乾燥弱毒生水痘ワクチン：阪大微研）、組換えワクチン（乾燥組換え带状疱疹ワクチン：GSK社）の2種類**があります。それぞれ接種回数や接種方法、接種スケジュール、接種条件が異なり、さらにその効果と持続期間、副反応の出現頻度などの特徴も異なります。ただし、どちらのワクチンも带状疱疹の発症およびその合併症に対する予防効果が認められています。



令和7年4月より対象の方に带状疱疹ワクチンが定期接種（一部公費負担）で受けられます。

带状疱疹ワクチン：自費と定期接種（公費負担）の費用

	自費	公費負担 (対象の方のみ)
生ワクチン (乾燥弱毒生水痘ワクチン)	8,000円	4,000円
組換えワクチン (乾燥組換え带状疱疹ワクチン)	22,000円(1回) 合計44,000円(2回分)	10,000円(1回) 合計20,000円(2回分)

対象となる方

～下記の①、②の両条件を満たす方が対象です～

① ワクチン接種日時時点で川崎市内に住民登録のある方

② 令和7年度(2025年度)中に次の年齢を迎える方

年齢	令和7年度に対象になる方の生年月日
65歳	昭和35年(1960年)4月2日 ～ 昭和36年(1961年)4月1日生
70歳	昭和30年(1955年)4月2日 ～ 昭和31年(1956年)4月1日生
75歳	昭和25年(1950年)4月2日 ～ 昭和26年(1951年)4月1日生
80歳	昭和20年(1945年)4月2日 ～ 昭和21年(1946年)4月1日生
85歳	昭和15年(1940年)4月2日 ～ 昭和16年(1941年)4月1日生
90歳	昭和10年(1935年)4月2日 ～ 昭和11年(1936年)4月1日生
95歳	昭和5年(1930年)4月2日 ～ 昭和6年(1931年)4月1日生
100歳以上	大正15年/昭和元年(1926年)4月1日以前に生まれた方

※令和8年度は新たに対象者が変わります。

ワクチン対象者への個別通知について

対象の方には**6月下旬に川崎市より個別通知が送付**されます。

個別通知が送付される前に接種を希望の方は**当クリニックにある予診票**を使用してください。

実施期間

令和7年(2025年)4月1日から令和8年(2026年)3月31日まで

※期間を過ぎると任意接種となり、全額自己負担となります。

ワクチンの自己負担金・スケジュールなど

接種する带状疱疹ワクチンは**2種類**があります。

(1) **生ワクチン**(阪大微研:乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」)

(2) **組換えワクチン**(GSK社:乾燥組換え带状疱疹ワクチン「シングリックス」)

上記2種類の**いずれかを選択して接種**を受けます。

	生ワクチン（阪大微研）	組換えワクチン（GSK社）
接種回数（接種方法）	1回（皮下に接種）	2回（筋肉内に接種）
自己負担金	4,000円	10,000円（1回分） ※合計自己負担金は20,000円
接種スケジュール	1回のみ	2ヵ月以上の間隔において2回接種
接種できない方	病気や治療によって、免疫が低下している方は接種できません。 (1)明らかに発熱している方(37.5℃以上) (2)重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方 (3)それぞれの予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを呈したことが明らかな方 (4)その他、医師が予防接種を行うことについて不適当な状態と判断する方	免疫の状態に関わらず接種可能です。
接種に注意が必要な方	輸血やガンマグロブリンの注射を受けた方は治療後3ヵ月以上、大量ガンマグロブリン療法を受けた方は治療後6ヵ月以上おいて接種してください。	筋肉内に接種をするため、血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施されている方は注意が必要です。 (1)過去に任意で带状疱疹ワクチン(生ワクチン、組換えワクチン)を接種したことがある方 (2)心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患がある方 (3)過去に予防接種を受けて2日以内に発熱、全身性発疹等のアレルギーを疑う症状の見られた方 (4)過去にけいれん(ひきつけ)を起こしたことがある方 (5)過去に免疫不全の診断がなされている方および近親者に先天性免疫不全症の罹患者がいる方 (6)带状疱疹ワクチン(生ワクチン、組換えワクチン)の成分に対してアレルギーを起こすおそれのある方

ワクチンの予防効果

	生ワクチン	組換えワクチン
接種後1年時点	60%程度	90%以上
接種後5年時点	40%程度	90%程度
接種後10年時点	20%程度	70%程度

ワクチンの安全性

主な副反応の発現頻度	生ワクチン	組換えワクチン
70%以上	—	接種部位の痛み
30%以上	接種部位の発赤	接種部位の発赤 筋肉痛、疲労
10%以上	接種部位のかゆみ・熱感・腫れ・痛み・硬結	頭痛、悪寒、発熱、胃腸症状、接種部位の腫れ
1%以上	発疹、倦怠感	接種部位のかゆみ、倦怠感、その他の痛み

ワクチン接種までの流れ

- 1 クリニックに電話し、带状疱疹ワクチン定期接種の希望を伝えてください。
 - 生年月日、住所を確認し定期接種の対象となるか確認いたします。
 - 個別通知の有無を確認いたします。港町つばさクリニック [044-211-8866](tel:044-211-8866)
- 2 生ワクチン、組換えワクチンのどちらを希望されるか確認いたします。
 - 生ワクチン、組換えワクチンのどちらを接種するか悩まれている場合、外来予約を行い医師と相談することができます。
- 3 ワクチン接種日の外来予約をいたします。原則、平日の午後枠となります。
 - 可能な方には接種予約日前にクリニックにお越しいただき事前に予診票をお渡します。(個別通知の予診票をお持ちでない場合)
- 4 外来予約日に受診していただき、医師の問診・診察後にワクチン接種を行います。
 - 接種後の副反応が心配な方は、しばらくの間待合室で待機をしていただくことは可能です。
- 5 ワクチン接種後に接種済証お渡します。
 - 組換えワクチンを選択された方は、**2回目の組換えワクチン接種の際に接種済証が必要**となりますので大切に保管をお願いいたします。

接種を受けた後の注意点

- ワクチンを受けた後30分間は、急な副反応が起こることがあります。医療機関にすぐ連絡をとれるようにしておいてください。
- 副反応の多くは24時間以内に出現しますので、この間は体調に注意してください。
- **入浴は差し支えありません**が、注射した部位を強くこすることはやめ清潔を保つようにしてください。
- 接種当日は、**激しい運動や大量の飲酒は避けてください**。

自己負担金が無料になる方

ワクチン対象の方で以下の①～③のいずれかに該当する方は自己負担金が無料になります。

- ① 生活保護世帯に属する方
- ② 市・県民税非課税世帯(世帯全員が市・県民税非課税)に属する方
- ③ 中国残留邦人等の方で支援給付を受けている方

無料となる場合は以下のいずれかの証明する書類が必要になります

- ◆ 再診の被保護証明書
- ◆ 再診の介護保険料納入通知書
- ◆ 後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証(有効期限内のもの)
- ◆ 中国残留邦人等に対する支援給付本人確認証又は支援給付受給証明書

問い合わせ先

带状疱疹ワクチンに関する疑問・相談事項などについては下記のコールセンターにお問い合わせをお願いします。

川崎市予防接種コールセンター

受付時間： 8時30分から17時15分 月～金(祝日・年末年始除く)

電話： [044-200-0144](tel:044-200-0144)



医療法人つばさ会
港町つばさクリニック
川崎区港町5-2リヴァリエB棟104号
[044-211-8866](tel:044-211-8866)